

学校の先生方へ

みなとつるが山車会館 ご利用の手引き



みなとつるが山車会館は“山車”の保管・展示を主軸とした、
地域における大切な学習の場です。

学校での総合的な学習や社会科教育、郷土学習のために
ぜひ、みなとつるが山車会館をご利用ください。

みなとつるが山車会館

1. みなとつるが山車会館について

◇ 氣比神宮例大祭で巡行する『つるがの山車(日本遺産構成文化財)』を保管・展示しています。山車や装飾品等を安全に収納し、山車の魅力と保存継承の大切さを伝える施設として、1997年(平成9)5月に開館しました。

室町時代末期	つるがの山車が誕生する。
江戸時代	8月(旧暦9月)の氣比社の祭礼に「大山車」と「小山車」が多い時で40～50基曳き出された。
明治6(1873)	大山車を廃止し、小山車を町の山車として巡行するようになる。(12町から各1基が曳行)
昭和20(1945)	敦賀空襲。山車の大部分が消失。御所辻子、唐仁橋、金ヶ辻子の3基が残る。
昭和57(1982)	3基での山車巡行が復活する。
平成6(1994)	3基の山車が復元される(鵜飼ヶ辻子、東町、観世屋町)。以降、6基での巡行となる。
平成9(1997)	みなとつるが山車会館開館。



つるがの山車



◇ 別館は、1901年(明治34)に建てられた旧大和田銀行の本店社屋の建物(国登録有形文化財・日本遺産構成文化財)を活用し、港町として栄えてきた敦賀の歴史に関する資料を展示しています。

(常設展示『北前船と敦賀』『敦賀城主 大谷吉継』など)



◇ 常設展示のほか、企画展示やバックヤードツアーなども行っています。



2. 山車会館の教育普及活動（山車会館でできること）

① 展示（山車・別館）解説（20分～1時間 ※応相談）

- ◇ 山車展示室では、山車の実物展示とスクリーンシアター上映（山車が祭りで巡行するまでの様子）、ロビーや2階展示室では、幕・鎧兜・能面など、過去に使用されていた山車の装飾品のほか、市内各地で行われる伝統行事について展示しています。
- ◇ 別館建物（旧大和田銀行本店社屋）は、隣接する博物館建物とともに、敦賀港の繁栄を象徴する建物で、国登録有形文化財です。ここでは、大谷吉継が敦賀を治めた時代や、北前船が寄港した頃などの敦賀港の歴史について紹介しています。
職員が山車や展示、建物について解説を行います。



② 山車講座（30分～1時間 ※応相談）

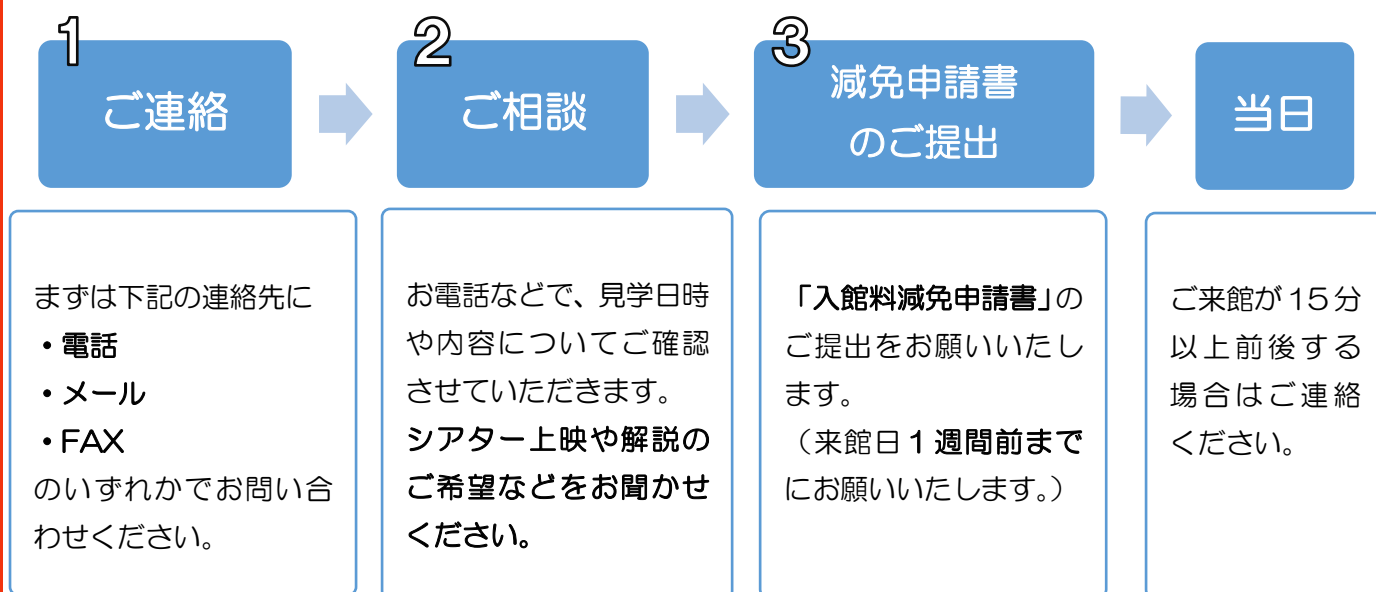
- ◇ 「つるがの山車」について、図解などを利用してご説明します。



内容の詳細についてはご相談ください。

3. お申込み方法

◇ お申込みの流れ



学校等の教育機関の場合、引率の先生も入館料が無料になります。
「入館料減免申請書」をご提出ください。

◇ 利用案内

【開館時間】 10:00～17:00

【休館日】 月曜日（祝休日の場合はその翌日）、祝休日の翌日
年末年始（12月28日～1月3日）

【入館料】 一般300円（団体200円）
博物館（みなとつるが山車会館隣）との共通券500円
（団体400円）
高校生以下無料

◇ 連絡先

TEL 0770-21-5570 FAX 0770-21-5572

メール k-yama@ton21.ne.jp

みなとつるが山車会館 

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番6号

4. 山車会館ご利用にあたってのご注意

- ◇ 児童・生徒のみなさんに守っていただきたいこと
(事前に周知をお願いいたします)

• 館内では静かにする

静かに展示を見たいと思っている人もいます。建物や展示しているものについてお話するときは小さな声で話しましょう。

• 手すりから体をのり出さない、ゆっくり歩く、道をゆずりあう

山車会館には、2階まで吹抜けの展示や狭い展示室などがあります。手すりからのり出したり、走ったりすると、落ちたり、展示品や人にぶつかってしまう危険があります。ゆっくり歩いて道をゆずりあいましょう。

• 展示品やガラスケース、建物にさわらない

山車会館に展示してあるものはどれも貴重で大事なものです。さわると、こわれたりよごれたりするかもしれません。これからもずっと残していけるように大切にしましょう。

• 山車会館では鉛筆をつかう

山車や展示品、建物の壁や床などが汚れたりしないよう、メモをとる時は鉛筆をつかってください。

◇ 引率の先生方へのお願い

- 山車会館内（研修室を除く）での飲食はお控えください。
(※水筒などでの水分補給をご希望の場合等はお相談ください)
- 館内での撮影は、資料の接写以外は可能です（見学風景など）。
- 館内での携帯電話の通話はお控えください。
- 記録および広報活動として職員が見学風景を撮影する場合がございます。
配慮が必要な場合はお知らせください。
- 別館は、文化財建物のため段差があります。ご注意ください。



みなとつるが
山車会館

MINATO
TSURUGA
YAMA
MUSEUM